

2012年4月/5月  
東京定期演奏会

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA

第639回

2012年4月6日(金)

午後7時開演(午後6時20分開場)

4月7日(土)

午後4時開演\* (午後3時30分開場)

「本日の聴きどころ(プレトーク)」開場午後3時

\*通常と開演時間が異なっておりますのでご注意ください。

《指揮》ピエタリ・インキネン  
[首席客演指揮者]

【マーラー撰集Vol.3】

シベリウス：付随音楽《死(クオレマ)》

《悲しきワルツ》《鶴のいる風景》《カンツォネッタ》《ロマンティックなワルツ》

マーラー：交響曲第5番



JAPAN  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA

日本フィルハーモニー交響楽団

東京定期演奏会  
サントリーホール

第640回

2012年5月18日(金)

午後7時開演(午後6時20分開場)

5月19日(土)

午後2時開演(午後1時30分開場)

「本日の聴きどころ(プレトーク)」開場午後1時

《指揮》アレクサンドル・ラザレフ  
[首席指揮者]

《ピアノ》上原彩子

【ラザレフが刻むロシアの魂《Season I ラフマニノフ3》】

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番

チャイコフスキー：交響曲第3番《ポーランド》



〈主催〉(財)日本フィルハーモニー交響楽団 〈特別協賛〉株式会社フジテレビジョン

〈協賛〉オリックス株式会社 鹿島建設株式会社 昭和シェル石油株式会社 株式会社ディーガイア 三井不動産株式会社 株式会社リョーサン パイオニア株式会社

(第639回) 〈助成〉公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 〈協賛〉ローム株式会社

(第640回) 〈後援〉フィンランド大使館

ロームミュージックファンデーションは、日本のプロ・オーケストラの活動を支援しています。  
このコンサートの演奏曲目によるCDの発行を助成しています。

ロシア連邦外務省 ロシア連邦文化マスコミ省 ロシア連邦文化協力庁 駐日ロシア連邦大使館

平成24年度文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

第639回  
2012.

4.6<sup>FRI</sup> - 7<sup>SAT</sup>

マーラーの人氣作、交響曲第5番は、深い精神性、高度なオーケストレーション、どれをとっても現代のオーケストラにとって崇高な位置に置かれた特別な一曲です。インキネンの伶俐な音楽性が、この複雑なスコアをどのように解き明かしてくれるのでしょうか。

単独での演奏機会が多い《悲しきワルツ》を含むシベリウスの《クオレマ(死)》は、シベリウスならではの北欧の空気を想起させるクールで深みのある音楽。NAXOSレーベルに録音したシベリウスの交響曲全集がワールド・リリースされているスペシャリスト、インキネンならではの解釈にご注目ください。

前半ではシベリウスの暗く落ち着いた「死」の世界を、そして後半は葬送行進曲に始まり最終的に勝利へと結びつくマーラーの輝かしい音楽に至るコンサート全体の構図もお楽しみ頂ければと思います。

第640回  
2012.

5.18<sup>FRI</sup> - 19<sup>SAT</sup>

【ラザレフが刻むロシアの魂】プロジェクト、5年計画で展開中です。今回は《Season I ラフマニノフ》の第3回目。時代背景から作曲家の内面まで深く読み込み、真摯にスコアと向き合うラザレフの解釈、それをいかに聴衆に伝えるか、考え抜かれ表現される音楽。真のラフマニノフ、ロシアの魂を、是非会場で感じて下さい。今回は2010年にプロコフィエフのピアノ協奏曲で共演し、ラザレフから絶賛された上原彩子と、圧倒的なパワーと超絶技巧が要求されるラフマニノフの第3番に挑みます。

後半は祝祭的な雰囲気にも包まれたチャイコフスキーの第3交響曲を。チャイコフスキーが35歳の頃に書いた作品です。若き作曲家のヴィヴィッドな創意が随所に組み込まれた名作です。

出演者プロフィール

ピエタリ・インキネン

Pietari INKINEN <Conductor>



2008年よりニュージーランド交響楽団音楽監督、2009年9月より日本フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

これまでに、シュターツカペレ・ドレスデン、ベルリン・ドイツ交響楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バイエルン放送響、ケルン西ドイツ放送響、マジオ・ムジカーレ、スカラ座管、イスラエルフィル、BBC響、フランス放送フィルに客演。

今春「エフゲニー・オネーギン」で、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場へデビュー予定。2013年のシーズンはパレルモのマッシモ劇場にて「ニーベルングの指環」全4部作を指揮することが決まっている。

出演者プロフィール

アレクサンドル・ラザレフ

Alexander LAZAREV <Conductor>



ボリショイ歌劇場の首席指揮者兼芸術監督(1987-1995)を務め、黄金時代を築いたロシアの名匠。現在も同歌劇場のコンダクター・インレジデンス(2009～)を務める。2008年から日本フィル首席指揮者に就任し、日本フィル、新時代の到来と高い評価を得ている。モスクワ音楽院でL.ギンズブルグに師事、同音楽院を首席で卒業。1971年にソ連国際指揮者コンクールで第1位、翌年にはベルリンでのカラヤン指揮者コンクールで第1位とゴールド・メダルを受賞。ロシア国外でもBBC響首席客演指揮者、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管首席指揮者などを歴任。18世紀の作品から前衛音楽までレパートリーは広範に及ぶ。CDも数多くリリースしており、日本フィルとはすでに6枚のCDをリリースしている。

上原彩子

UEHARA Ayako <Piano>



3歳児のコースからヤマハ音楽教室に、1990年よりヤマハマスタークラスに在籍。2002年6月、第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト受賞。これまでに国内外にて演奏活動を行い、2004年12月にはデュワ指揮N響と共演し、2004年度ベストソリストに選ばれた。CDは日本人ピアニストとして初めて、EMIクラシックスと契約し、チャイコフスキーの作品を取めた「グランド・ソナタ」、フリーベック・デ・ブルゴス指揮のロンドン響との共演によるチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番、プロコフィエフ作品集の3枚がワールドワイドでリリースされている。

料金(消費税込み)

◇第639回東京定期演奏会(4月)

S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000 C完売 P完売  
Ys(25歳以下)¥1,500

◇第640回東京定期演奏会(5月)

S¥7,500(土曜日残席僅少) A¥6,500 B¥5,500 C完売 P完売  
Ys(25歳以下)¥1,500

※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

※車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。

お申込み・お問い合わせ

日本フィル・サービスセンター

TEL. (03)5378-5911 [平日10時～18時(3月より～17時)]

FAX. (03)5378-6161 [24時間]

日本フィル eチケット♪ [席を選んで申し込みできます] [www.japanphil.or.jp/](http://www.japanphil.or.jp/)

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/japanphil>

PCコード 158-182(4月)、158-183(5月)

e+【イープラス】 <http://eplus.jp/>

ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター) <http://l-tike.com>

LCコード37773(4月)、37774(5月)

サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999

(2012年3月7日より) (0570)55-0017 [10時～18時]

★託児サービス[事前申込み制・有料]

イベント託児®マザーズ (0120)788-222 [平日10時～17時]

東京定期土曜限定プレトーク

「本日の聴きどころ」

毎回、これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等をご紹介します。

〈4月7日〉 〈5月19日〉

15:00	13:00	プレトーク開場
15:10	13:10	プレトーク開始 (1階席1列～14列でお聞きください)
15:25	13:25	プレトーク終了
15:30	13:30	一般開場
16:00	14:00	開演

定期会員募集中!

[2012年3月～7月]

詳しくはお問い合わせください。

日本フィル・サービスセンター TEL.03-5378-5911

サントリーホール

〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1 TEL.03-3505-1001

<http://www.suntory.co.jp/suntoryhall/>

【地下鉄】[南北線]六本木一丁目駅(3番出口)徒歩約5分

[銀座線・南北線]溜池山王駅(13番出口)徒歩7～10分

【バス】都営01系統バス(渋谷～新橋)赤坂アークヒルズ前下車